【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】（小学校用）

都道府県名	京都府

Ⅰ　学校の概要（平成１５年４月現在）

学校名	京都市立山王小学校								
学　年	１年	２年	３年	４年	５年	６年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	1	2	8	14
児童数	18	20	23	14	15	23	4	117	

Ⅱ　研究の概要

１．研究主題

社会や自然に働きかける活動を通して，個性豊かに表現していく子ども
～地域・人を切り込み口にした学習活動の工夫～

２．研究内容と方法

(1)　実施学年・教科

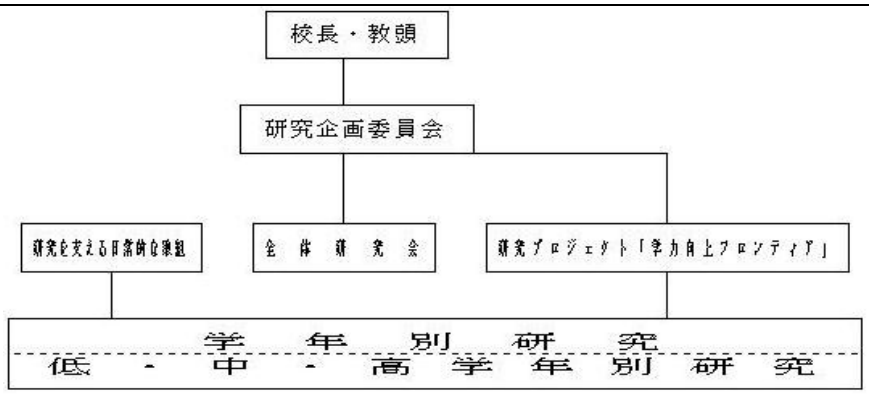
【学習における個人差に応じた学習指導の在り方】
・３～６年生　社会科
学校として，当該教科に関する研究実績があるため。
・１～２年生　生活科
学校として，当該教科に関する研究実績があるため。

(2)　年次ごとの計画

平成15年度	○テーマ「個性を生かす教育の創造」 学習における個人差に応じた学習指導の工夫と指導と評価の一体化。 ○研究の見通し（仮説） 学習における個人差を生かした学習プログラムの工夫を行うことで，一人一人の課題解決を図ることができるだろう。 ○研究の内容・方法 生活科・社会科　①地域素材・人材を活用した単元計画を工夫し，問題能力の向上を図る。 ②課題別・習熟度別に分岐型，選択型の授業を行い，基礎・基本の学習内容の定着を図る。 ③外的規準準拠による到達度評価と内的規準準拠による個人内評価を生かした授業設計を行う。

平成16年度	○テーマ「個性を生かす教育の創造」 学習における個人差に応じた学習指導による基礎学力の定着。 ○研究の見通し（仮説） 子どもの思考過程に沿った学習過程の工夫と指導と評価の一体化を目指した授業の構築により，基礎学力の定着を図ることができるだろう。 ○研究の内容・方法 生活科・社会科　①地域素材・人材を活用した単元計画の工夫と，課題別・習熟度別学習の授業を通して問題能力・基礎学力の向上を図る。 ②外的規準準拠による到達度評価と内的規準準拠による個人内評価のバランスを図り，自作テスト等を行い，結果を分析することで授業改善につなげる。

(3)　研究推進体制



＊評価規準に基づいた評価と観察記述法による学習プロフィールを記録し，個別課題を明確化する。課題解決の手立てと指導法の改善を協議し基礎学力の向上を目指す。

Ⅲ　平成１５年度の研究の成果及び今後の課題

１．研究の成果

①左記の本校の研究構造図において，学力向上フロンティアに関する取組は，求同・求異の教育実践に基づいて，基礎・基本の定着につなげるようにしてきた。

②特に，習熟度差（到達度差）に応じるために学習形態・指導形態の工夫を行った授業実践を積み重ねることで，分かる授業，一人一人が達成感を味わえる授業を構築することができた。

③地域素材・人材を活用した学習プログラムが作成できた。そのことにより子どもの問題意識と学習意欲が高まり，主体的な学習に結び付いた。

２．今後の課題

①本校児童の基礎学力実態をデータ化し，分析しながら課題をさらに明らかにし，改善を図る取組を具体化する。（語彙獲得数，計算技能，図形認識などの量的な定着度と数学的思考・社会的思考などのような論理的思考過程の実態を調査する。）

②各教科の特性をふまえた上で，習熟度差，学習適性差，学習時間差，興味・関心差等を生かした学習過程の工夫を図り，一人一人の学習課題解決に向けた学習指導を充実させ，基礎学力の向上を図る。

③地域素材・人材を有効に授業に活用しながら，体験的な学習を通して問題解決能力の向上を図る。

Ⅳ　学力等把握のための学校としての取組

○教育課程実施状況把握調査
　平成１６年１月１５日
○授業実践（研究授業を含む）を通しての実態把握と指導法の改善協議
　年間１１回
○読み・書き・計算の習熟度調査テスト（チャレンジ大会）
　年間２回

Ⅴ　フロンティアスクールとしての研究成果の普及

○第１２年次「個性を生かす教育の創造研究発表会」
　～学力向上フロンティアスクール１年次～
(1) 日時　平成１６年２月６日（金）10:00～16:30　山王小学校
(2) 内容　①研究報告
　②講演「京都女子大学教授　北尾倫彦先生」
　③授業公開（全学年）
　④パネルディスカッション
(3) 成果　＊全国及び京都市内よりの参加者数　２３６名
　＊別添資料　公開案内及び本校研究紀要・指導案集

◇　次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

【新規校・継続校】　☑１５年度からの新規校　□１４年度からの継続校

【学校規模】　□６学級以下　☑７～１２学級
□１３～１８学級　□１９～２４学級
□２５学級以上

【指導体制】　□少人数指導　☑Ｔ．Ｔによる指導
□一部教科担任制　□その他

【研究教科】　□国語　☑社会　□算数　□理科
☑生活　□音楽　□図画工作　□家庭
□体育　☑その他（生活単元学習）

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】　☑有　□無